

北部普及だより

北摂地域大阪産（もん）商談会を開催しました

～教えてください！ あなた自慢の大阪産（もん）～

農の普及課では、管内農産物のブランド化、販路拡大による生産者の所得向上を推進するため、三島府民センターで、12月8日（木）に「北摂地域大阪産（もん）マッチング商談会」（以下、商談会）を開催しました。

開催に当たり、農の普及課は、出展者に向け商談会を活用した農業経営の考え方や商品の効果的なPR方法等を内容とした「売れるモノづくり研修会」を2回実施しました（8、10月）。

また、商談会2週間前には、出展意欲を高めてもらうため、商談会に向けての心構えや来場者の印象に残る試飲食、効果的な商品やパネル展示の方法等を内容とした「直前通信」で情報提供を4回行いました。さらに商談会の開始直前にも会場で6次産業化プランナーから商談や展示のポイントについてアドバイスを受けました。

商談会に出展した10農家・農産加工業者らは、来場者（15業者29名）に、試飲食



▲商談会の様子

やパネル展示を通じて商品のセールスポイントを熱心に説明するなど、自慢の逸品を積極的にPRしていました。

北摂地域以外からの来場者も多く、来場者はお目当ての商品のひとつひとつを手に取り、試飲食し、熱心に出展者に質問したりと、出展者との商談に強い意気込みが伝わってきました。

商談会終了後、来場者からは「良い商材が多い」「次につながるお話ができた」「次回も参加したい」、出展者からは「たいへん勉強になった」「商談につなげたい話がいくつもあった」「おつきあいたい業者さんが見つかった」など、双方から前向きな意見や感想を、多く聞くことができました。

今後も商工会議所や府の関係部局等と連携し、生産者と飲食店、流通業者等との効果的なマッチングの場を提供していきます。



▲事前研修会の様子

大阪産(もん)

大阪エコ農産物認証制度が改正されました

【主な改正点】

①認証マークの改正

平成29年4月出荷分のエコ農産物から使用が始まります。

②新たな取組として「自己点検シート」を導入

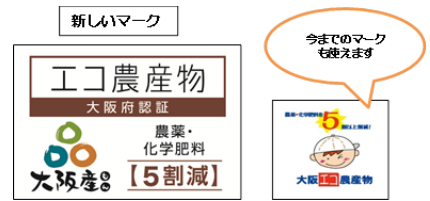
生産者として、食品の安全生産や環境への配慮について必要最低限取り組むべき項目について、自ら確認する様式を追加しました。

③肥料のリン酸の基準を廃止

国の特別栽培農産物ガイドラインに合わせ、化学肥料の削減対象からリン酸を削除しました。

④農薬使用計画について、防除日誌等が利用可能に

農薬の使用計画については、指定の様式に代えて、「管内」JA、直売所等が作成した様式で作物名、使用薬剤、使用回数、使用倍率、使用時期が明記されているもの」を利用できるようになりました。



伝統を守り続けて…豊能町高山の「真菜漬」



今回は、平成28年10月にオープンした、豊能町の直売所「志野の里」に「真菜漬」を出荷している高山伝統野菜生産者組合(平成28年3月設立)を紹介します。

真菜漬は、キリシタン大名として有名な高山右近ゆかりの地である高山地区で、およそ300年前から生産されてきた「高山真菜」の漬け物です。高山の農家女性たちは25年前から真菜漬の加工販売に取り組んでおり、現在は「高山牛蒡」と「高山真菜」の生産振興を目的に設立された高山伝統野菜生産者組合で、伝統の真菜漬を守りつづけています。3月に真菜の花茎部分をつみ取って真菜漬に加工、通年販売しています。甘くて特有の風味がある真菜漬に興味のある方は、ぜひ「志野の里」へいらしてください。

○豊能町直売所「志野の里」
営業時間：毎週土・日曜日 9～15時、 電話：072-739-3424

お知らせ

**茨木市中井優紀さんが特別賞受賞！
「おおさか No-1 グランプリ」ファイナル開催！**

大阪府では今年度から、府内若手農業者の経営強化プランのコンテストを行う「おおさか No-1 グランプリ」を実施しています。

1月28日、大阪市内にて最終公開選考を行い、8名のファイナリストが熱いプレゼンテーションを行いました。北部管内からは、茨木市千提寺地区で「うど栽培」に取り組む新規就農者中井優紀さんの「独りじゃ生きられへん。みんなで活かすプロジェクト」が特別賞を受賞されました。おめでとうございます。



▲特別賞を受賞された中井優紀さん